2018 年 10 月

お客様　各位

ホーチキ株式会社

停電に対する当社の自動火災報知設備・非常警報設備・ガス漏れ警報設備の対応について

停電時の事象・対応について、および復電後の対応についてご案内いたします。
お客様にてご対応をお願いする事項についても含まれておりますので、ご参照いただければ幸いです。

記

①停電時の事象

・受信機は自動的に予備電源に切り替わり、適切な設置維持管理時においては 60 分間の設備監視後の 10 分間の設備作動を補償しています。（実力的にはこの時間より長い時間予備電源にて監視が可能です。）
長時間の停電により、予備電源の容量が低下し放電してしまうと受信機は機能が停止し、火災（ガス漏れ、非常警報等各設備）が未監視状態となります。
最悪の場合は、火災、ガス漏れの監視、警報（火災時の警報ベル等の鳴動）が働かなくなる恐れがあります。

・受信機は交流電源が断になりますと障害音響が鳴動し、障害を表示します。
（停電時の受信機動作については、設備又は受信機の種類により異なります）

※停電が繰り返し発生する状況では、予備電源への充電が十分行われない場合が発生します。その際、予備電源での設備監視時間が短くなりますのでご注意願います。

②停電中の対応

・障害音響については、受信機盤面の**「音響停止」**スイッチを押して止めてください。
・予備電源の容量が低下しますと、障害音声が繰り返されることがございます。その際は、**「障害音響停止」**スイッチを押してください。
（機種により、「障害音響停止」スイッチの無い機種がございます。**「復旧」**スイッチでは、障害音響及び障害音声停止が出来ませんので**「復旧」**スイッチを押さないで下さい。）
※操作については、下記の P 型 1 級操作スイッチ位置を参照して下さい。
・予備電源にて設備監視を行っていますが、予備電源が放電した場合、火災（ガス漏れ等各設備）が未監視状態となりますので、人員にて監視をするなどして、普段以上に火災（ガス漏れ等各設備）に対する警戒を行ってください。

③復電後の対応

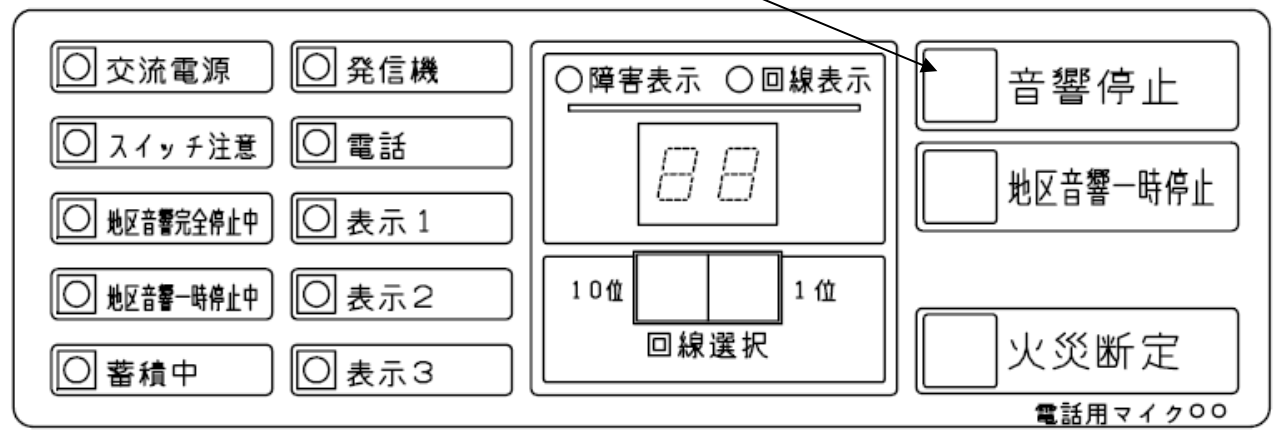
・自動的に受信機又は端末機器に電源が入り、監視状態となります。
・予備電源の充電が不足している場合、受信機にて障害音響が鳴動し、障害を表示します。
（受信機動作については、設備又は受信機の種類により異なります。）
障害音響については、受信機盤面の**「音響停止」**スイッチを押して止めてください。
・予備電源が一度、放電した場合、満充電には、放電をした時間や設備又は受信機の種類によって異なりますが、時間がかかります。
・予備電源の充電が、満充電になる前に停電状態が繰り返しされた場合は、①停電時の事象のおける監視時間が短くなります。

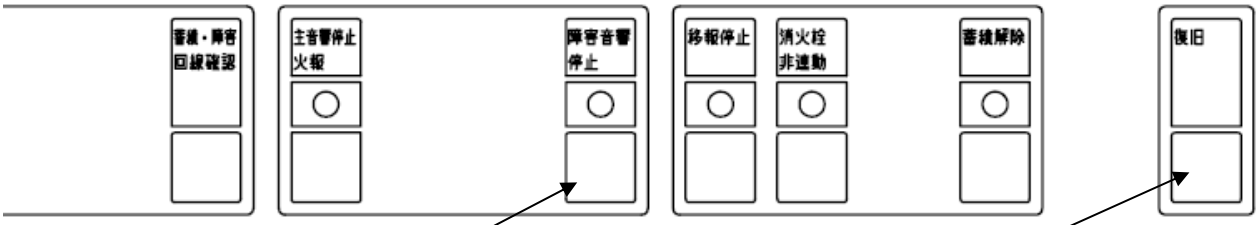
※なお設置環境によっては、上記以外の障害が発生する場合があります。

P 型１級受信機操作スイッチ位置（例）

「RPP シリーズ」

「音響停止」スイッチ





「障害音響停止」スイッチ
上記スイッチを押すとスイッチ注意灯が点滅します。

「復旧」スイッチ
※復旧スイッチでは、障害音響及び障害音声は止まりませんので操作しないで下さい。

※ご不明な点等がございましたら、お手数をお掛けいたしますが、下記の電話番号へご連絡ください。

【連絡先】　ホーチキお客様ご相談窓口

0120-919-856
携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
受付時間 9:00～17:00
（土日・祝祭日・7月の第1月曜日・年末年始・ほか、ホーチキの定める休業日を除く）
注）ご使用の回線（IP電話など）によってはつながらない場合がございます。
※つながらない場合… **03-4588-6720**
（通話料はお客様ご負担となります）

以　上